

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年10月14日
【四半期会計期間】	第56期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第2四半期 連結累計期間	第56期 第2四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (百万円)	13,647	16,167	28,607
経常利益 (百万円)	179	898	365
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	183	761	365
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	180	768	391
純資産額 (百万円)	16,954	17,480	17,162
総資産額 (百万円)	30,183	32,384	31,076
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	26.41	114.58	52.57
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	56.2	54.0	55.2
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	175	1,536	328
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	261	39	758
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	42	450	43
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	12,552	13,585	12,581

回次	第55期 第2四半期 連結会計期間	第56期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.26	118.17

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第55期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第55期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第56期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、厳しい状況にありました。また、個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、同感染症の拡大が懸念される中、景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、主力事業である定期便事業の構造強化と次代を担う新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

定期便事業においては、顧客との共感を基点とする継続的な関係性を重視するマーケティングを推し進めるとともに、自粛ムードが広がる中で、日々の暮らしをより豊かに楽しめるよう、さまざまな提案を行ってまいりました。6月から8月にかけて、SNSで大きな反響があった「雨空を泳ぐミズクラゲの傘」などの独創性溢れる商品の投入や、レジ袋有料化によるニーズを的確に捉えた「レジカゴリュック」のテレビCMの実施等、各種メディアの積極的な活用によって新たな顧客との出会いの場を創出したことにより、新規顧客数は前年同期に比べて大幅に増加いたしました。また、効果的なDMの投入や継続購入型商品・サービスの拡充や販売手法の改善により、過去購買顧客の再購入数及び継続顧客数につきましても前年同期に比べて大幅に増加いたしました。売上高につきましては、「Live in comfort（ライブ イン コンフォート）」や「IEDIT（イディット）」などのファッションブランドの売上げが好調に推移するとともに、身に付けるだけで姿勢美人になれる「ヨガ気分ブラ」をはじめとするインナー商品も前年同期に比べて売上げを大きく増加させました。また、外出自粛による在宅時間の増加に伴い、オリジナル手芸キットで手作りを楽しむ「Couturier（クチュリエ）」商品や、洗濯槽・排水溝クリーナーといったお掃除雑貨商品の売上げが好調に推移いたしました。

新規事業分野においては、前期に引き続き他社の物流・EC構築を支援する事業や、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」事業についても、前年同期に比べて売上げが大きく増加いたしました。また、神戸で生まれた新生児にギフトをお送りする「こべっこウェルカムプレゼント事業」を神戸市から受託し、売上げ増加に貢献いたしました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は16,167百万円（前年同期比18.5%増）となりました。返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は、8,778百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、顧客数の増加によって出荷件数が増加し、それに伴い商品送料等の販売費や広告費が増加いたしました。また、減価償却費等の設備費が増加したことにより、販売費及び一般管理費は7,853百万円（前年同期比8.7%増）となりました。これらの結果、営業利益は924百万円（前年同期比371.4%増）となりました。

営業外損益では、受取利息等による営業外収益を39百万円計上した一方、為替差損等による営業外費用を65百万円計上したことにより、経常利益は898百万円（前年同期比399.3%増）となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は888百万円（前年同期比372.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は761百万円（前年同期比314.8%増）となりました。

財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,308百万円増加し、32,384百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による現金及び預金の増加929百万円、季節要因による商品の増加313百万円及び当連結会計年度に完成予定の新社屋建設への投資等による有形固定資産の増加746百万円に対し、有価証券の減少793百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ990百万円増加し、14,904百万円となりました。これは主に売上げが好調なことによる仕入れの増加に伴う支払手形及び買掛金の増加322百万円、電子記録債務の増加250百万円及び支払信託の増加150百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ317百万円増加し、17,480百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を761百万円計上したこと等による利益剰余金の増加726百万円に対し、第1四半期連結会計期間に実施した自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の増加415百万円となったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,004百万円増加し、13,585百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は1,536百万円（前年同期は175百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上888百万円及び仕入債務の増加723百万円に対し、たな卸資産の増加314百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は39百万円（前年同期比 84.7%減）となりました。これは主に有価証券の償還による収入2,000百万円に対し、有価証券の取得による支出1,000百万円、有形固定資産の取得による支出815百万円及び無形固定資産の取得による支出197百万円となったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は450百万円（前年同期比 969.3%増）となりました。これは主に自己株式の取得による支出415百万円によるものであります。

(2) 経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社目神山事務所	兵庫県西宮市甲陽園目神山町31-125	803	12.31
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	399	6.12
フェリシモ共創会	神戸市中央区浪花町59番地	338	5.19
矢崎 和彦	兵庫県西宮市	301	4.62
子守 康範	神戸市垂水区	262	4.02
星 美佐	兵庫県西宮市	262	4.02
子守 康輝	大阪府豊中市	212	3.25
矢崎 真理	兵庫県西宮市	177	2.71
フェリシモ従業員持株会	神戸市中央区浪花町59番地	175	2.69
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	174	2.67
計	-	3,109	47.67

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,520,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,518,200	65,182	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	65,182	-

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町 59番地	3,520,800	-	3,520,800	35.05
計	-	3,520,800	-	3,520,800	35.05

(注) 当社は2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式取得に係る事項を決議し、2020年4月22日に東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)によって427,000株を取得いたしました。その結果、当第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は3,520,802株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,316	16,246
売掛金	2,729	2,907
有価証券	2,042	1,249
信託受益権	629	477
商品	3,894	4,207
貯蔵品	44	45
その他	771	794
貸倒引当金	38	32
流動資産合計	25,391	25,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422	444
土地	1,946	1,946
その他(純額)	1,054	1,778
有形固定資産合計	3,423	4,170
無形固定資産		
投資その他の資産	863	914
投資有価証券	1,158	1,168
その他	239	234
投資その他の資産合計	1,398	1,402
固定資産合計	5,685	6,487
資産合計	31,076	32,384
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,113	1,436
電子記録債務	2,167	2,018
支払信託	2,392	2,542
未払法人税等	48	177
販売促進引当金	215	236
賞与引当金	155	170
その他の引当金	47	59
その他	1,679	1,933
流動負債合計	7,420	8,574
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	3,059	3,042
その他	434	287
固定負債合計	6,493	6,329
負債合計	13,913	14,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	13,444	14,171
自己株式	3,033	3,449
株主資本合計	17,121	17,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	20
繰延ヘッジ損益	2	7
退職給付に係る調整累計額	17	35
その他の包括利益累計額合計	40	48
純資産合計	17,162	17,480
負債純資産合計	31,076	32,384

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年 8月 31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年 8月 31日)
売上高	13,647	16,167
売上原価	6,261	7,376
売上総利益	7,386	8,791
返品調整引当金戻入額	71	43
返品調整引当金繰入額	36	56
差引売上総利益	7,420	8,778
販売費及び一般管理費	7,224	7,853
営業利益	196	924
営業外収益		
受取利息	21	14
受取家賃	5	5
受取補償金	6	2
その他	16	17
営業外収益合計	50	39
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	65	58
持分法による投資損失	0	5
その他	0	0
営業外費用合計	66	65
経常利益	179	898
特別利益		
持分変動利益	8	-
特別利益合計	8	-
特別損失		
関係会社株式評価損	-	9
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純利益	188	888
法人税、住民税及び事業税	2	127
法人税等調整額	2	-
法人税等合計	4	127
四半期純利益	183	761
非支配株主に帰属する四半期純損失 ()	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	183	761

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	183	761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	0
繰延ヘッジ損益	16	9
退職給付に係る調整額	16	18
その他の包括利益合計	2	7
四半期包括利益	180	768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	768
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	188	888
減価償却費	124	190
引当金の増減額(は減少)	24	41
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	57	0
受取利息及び受取配当金	21	14
支払利息	0	0
為替差損益(は益)	70	71
売上債権の増減額(は増加)	399	178
たな卸資産の増減額(は増加)	312	314
仕入債務の増減額(は減少)	559	723
未払金の増減額(は減少)	11	42
その他	108	62
小計	197	1,515
利息及び配当金の受取額	31	27
利息の支払額	0	0
法人税等の支払額	8	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	175	1,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,056	3,364
定期預金の払戻による収入	4,040	3,348
有価証券の取得による支出	-	1,000
有価証券の償還による収入	-	2,000
有形固定資産の取得による支出	85	815
無形固定資産の取得による支出	165	197
投資有価証券の取得による支出	10	-
その他	16	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	261	39
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	7	-
配当金の支払額	34	34
自己株式の取得による支出	-	415
財務活動によるキャッシュ・フロー	42	450
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	41
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	514	1,004
現金及び現金同等物の期首残高	13,082	12,581
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	15	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,552	13,585

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
当座貸越極度額	1,000百万円	7,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	7,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、前連結会計年度末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前連結会計年度末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
支払手形	90百万円	- 百万円
電子記録債務	482	-
支払信託	764	-

(四半期連結損益計算書関係)

。販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
広告費	1,763百万円	1,847百万円
運送費	1,042	1,323
給与手当	1,570	1,598
賞与引当金繰入額	161	170
退職給付費用	120	122
減価償却費	124	190

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

・現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	16,007百万円	16,246百万円
有価証券勘定	2,000	1,249
信託受益権勘定	585	477
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	4,041	3,348
償還期限が3ヵ月を超える有価証券	2,000	1,038
現金及び現金同等物	12,552	13,585

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	34	5	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	34	5	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT 3)による買付けを行うことを決議し、2020年4月22日に自己株式を取得いたしました。

これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が415百万円、自己株式数が427,000株それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間

(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券
前連結会計年度(2020年2月29日)

	取得原価(百万円)	連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	1,000	1,005	5
その他	-	-	-
(3) その他	2,144	2,169	25
合計	3,144	3,175	30

(注)非上場株式(連結貸借対照表計上額 25百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間(2020年8月31日)

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	1,000	999	0
その他	-	-	-
(3) その他	1,358	1,392	34
合計	2,358	2,391	33

(注)非上場株式(連結貸借対照表計上額 25百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	26円41銭	114円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	183	761
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	183	761
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,949	6,643

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月14日

株式会社フェリシモ

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	川原光爵
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北野和行

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。